

第1回草津市地球温暖化対策推進本部会議（R8.7.29 開催）での主な意見および対応

No	意見、指摘事項	回答、対応方針
●次第2. 令和7年度 草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実績について 資料3		
1	R7年度のCO2排出量は12,805tとのことだが、 資料4 のゼロカーボンシティくさつ推進事業の実績説明では、ごみ発電利活用（自己託送）事業で、300t・CO2削減されたとあり、この分は反映されているのか。また、ごみ発電利活用事業の成果は、R7年度は3か月分なので、通年となるR8年度は、さらに削減量が増えるのか。	R7年度の市の事務事業によるCO2排出量（12,805t）は、ごみ発電利活用事業の成果を踏まえた数字である。 資料6 のとおり、R8年度以降は、本事業により、年間1,500tのCO2削減を想定している。
2	省エネ法の実績について、市長部局のエネルギー消費原単位が、草津市立プールの通年供用開始や猛暑等を理由に、R7年度は前年度比6.4%増が説明できるのか。その前は、前年度比17.9%であったことから、R7年度は原単位を減少させる要因もあったのではないかと。もう少し理由を丁寧に説明した方がよい。	減少させる要因として、施設照明のLED化の効果などもあったため、増加が抑えられたと分析している。ご指摘のとおり、丁寧に理由を記載するよう修正する。
3	2に関連して、ごみ発電利活用（自己託送）事業の成果は、市長部局に入るのであれば、その理由も追記すべきではないか。現状の説明では、草津市立プールとくさつシティアリーナの増加だけが影響しているような印象を受ける。	ご指摘のとおり、自己託送電力を活用することになった浄水場は、エネルギー消費原単位が減少しているので、そのことも理由に記載するようにする。
●次第4. 令和8年度 草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の取組について 資料5		
4	エコオフィス行動重点取組項目は、職員が小さなことから取り組んでいくことを目的としていると考えている。 照明については、昼休みは窓口対応部署でも消しても支障がない部署があると思うが、全庁的に照明をつけたままになっているのが気になる。 また、冷房運転の時期にフロアによってトイレやコピー室の窓が開いていることがある。どのように考えているか。	昼休みの窓口照明については、これまで議論があり、経営戦略課の「草津市庁舎等開庁時間の見直しに関するガイドライン」で整理がされた。照明をつけたままの部署があるということで、改めて（取組の方針について、）原部原課（経営戦略課）に確認していく。 トイレ、コピー室の窓の開放については適正な対応を庁内に呼びかけていきたい。